

【資料4 令和9年度収支見通し費用構成表】

令和9年度収支見込費用内訳【収益的収支】

項目	減価償却・資産減耗	委託料	人件費	動力費	償還利息	修繕費	薬品費	光熱水費	燃料費	その他	費用計（千円）
構成率	40.91%	19.86%	12.70%	10.47%	5.70%	4.19%	1.89%	0.16%	0.07%	4.03%	100.00%
費用	137,051	66,547	42,560	35,094	19,113	14,053	6,347	530	245	13,493	335,033
95.97%											

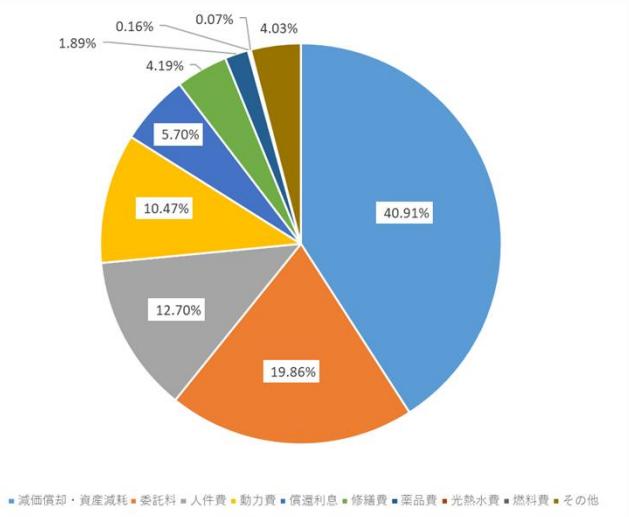
令和9年度収支見込費用内訳【資本的収支】

項目	負担金	委託料	備品購入	工事請負費	償還元金	費用計（千円）
構成率	1.17%	3.51%	1.01%	62.71%	31.61%	100.00%
費用	5,000	15,000	4,298	268,169	135,176	427,643

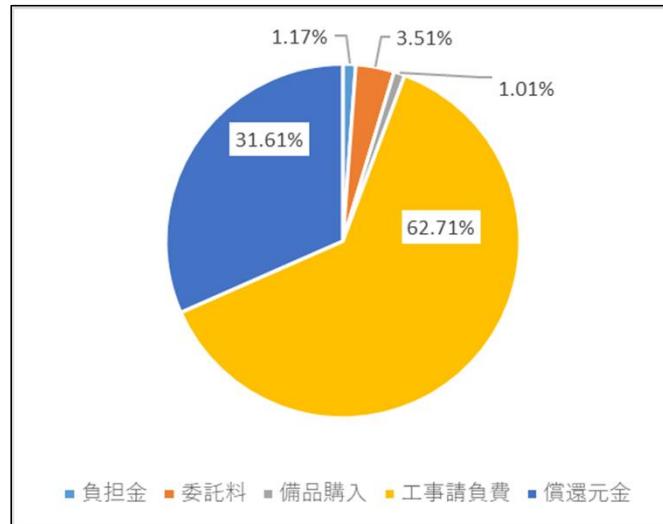
うち特定財源

補助金	0	0	0	0	0	0
企業債	0	11,250	0	196,300	0	207,550

費用構成表【収益的収支】



費用構成表【資本的収支】



【収益的収支】

- ・減価償却・資産減耗費、償還利息が全体の約46%を占めている。
- ・動力費、燃料費、光熱水費、薬品費は水質や配水状況により必要となるもので、縮減が難しい。
- ・漏水等で無駄な送水を行わないよう必要分を修繕で対応しており、修繕費を削減することにより、無駄な動力費等が発生する可能性がある。
- ・全体的な予算の執行においては、入札等により経済性を担保しており、これ以上の縮減は難しい。
- ・その他に含まれる消耗品、通信運搬費、手数料等においても、庁舎内で一括対応しており、必要分のみを水道事業で負担しているため、これ以上の縮減は難しい。

【資本的収支】

- ・過去の建設改良事業の状況等により、国庫補助金の要件に該当せず、現在は企業債と自主財源だけで実施している状態となっているが、耐用年数を迎える施設、管路が増えてきており、計画的な更新を進めていかないと大規模な配水事故（広範囲な断水）等のリスクが高まっていくため、必要な事業は先送りせずに実施していくことが必要となる。